

令和元年度 事務事業総点検シート(1)  
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	交通安全教育及び普及・啓発			シート番号	A 一般事務事業
担当部署名	建設	局	自転車まちづくり部	部	自転車企画推進課
				課	評価責任者(課長名)
					松谷

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	6	市民・事業者・警察等との連携・協働による生活安全対策の推進	無
	2	事業開始年度	昭和 34 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	交通安全対策基本法第4条及び第18条、堺市交通安全対策会議条例、堺市交通安全対策会議規則			
	4	関連計画	堺市交通安全計画			
5	事業実施の経緯	<p>「交通事故をなくす運動」堺市推進協議会は、昭和34年に堺市、警察署等が交通事故防止対策の推進について活動を開始し、現在に至っている。</p> <p>交通安全啓発活動に関しては、昭和38年度から交通指導員制度を発足させ、春秋の全国交通安全運動をはじめ、各種交通事故防止運動の推進を図っている。また、昭和59年度より、専任の交通安全教育担当職員が配属され、現在は4名の職員を配置し交通安全の実技指導を実施している。</p>				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他( )		
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	交通安全普及啓発全般: 全市民及び市内の道路を利用するドライバー等 交通安全教室: 市内小・中学校・特別支援学校の児童、生徒及び保育所(園)、幼稚園、こども園の園児 交通安全講習会: 一般ドライバー、高齢者等		
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	市民、交通安全関係機関、諸団体と協力し「交通事故をなくす運動」を推進し、市民の交通事故防止を図るとともに、交通安全の確保に寄与する。		
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	本市をはじめ、各警察署、交通安全推進機関等83の機関・団体が構成された「交通事故をなくす運動」堺市推進協議会では、各季の交通安全運動はもとより、区民まつり、地域のイベント等、年間を通し様々な機会を捉えた交通安全普及・啓発活動を行っている。 市内各警察署との連携のもと、交通安全教育担当職員が学校園に出向き、講義や模擬道路での実技指導を行っている。 また、堺市違法駐車等防止重点地域において、違法駐車防止活動を実施している。(年間活動日数:60日業務委託)		
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他( ) 堺市違法駐車等防止活動業務受注者			

Ⅲ. 投入量

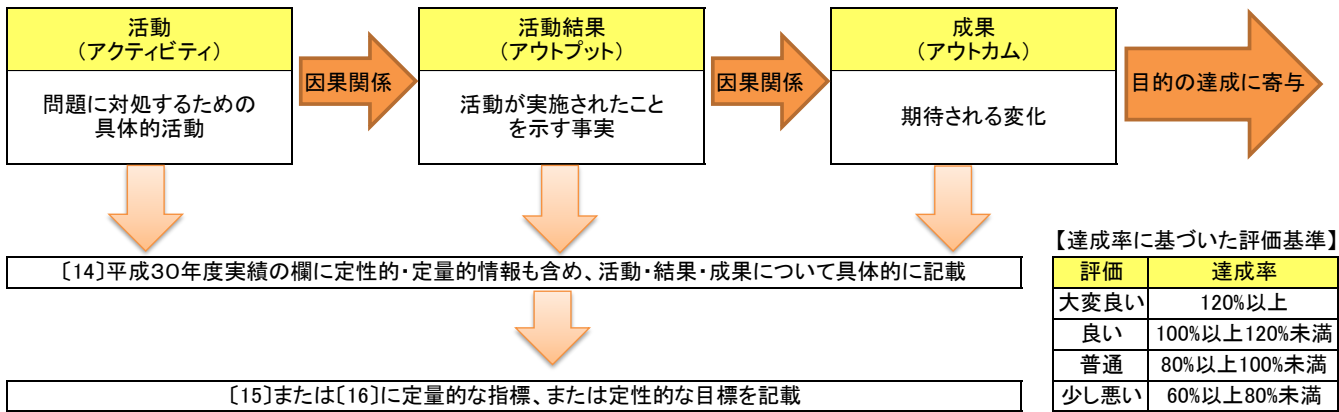
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業費 (a)	千円	28,482	28,728	29,281	29,312	
11 主な事業費内訳	「交通事故をなくす運動」堺市推進協議会負担金	千円	9,022	9,022	9,382	9,250
	交通安全教育担当嘱託員人件費	千円	11,343	11,957	11,995	11,754
	堺市違法駐車等防止活動業務委託料、その他	千円	8,117	7,749	7,904	8,308
		千円				
財源内訳	国・府支出金	千円				
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
	市債	千円				
	その他(自転車環境共生まちづくり基金繰入金)	千円	4,500	4,500	4,000	4,000
一般財源	千円	23,982	24,228	25,281	25,312	
12 人件費 (b)	千円	29,900	29,900	29,800	34,100	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	58,382	58,628	59,081	63,412	

## 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	交通安全教育及び普及・啓発	シート番号	19-88
-------	---------------	-------	-------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)》

#### ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

#### 事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	交通事故死者数は一昨年(H28)・昨年(H29)に続き減少傾向にある。また、2年続けて統計史上最少となり、昨年は9名まで減少している。保育所(園)、幼稚園、こども園、小学校等で、交通安全教室を254回実施した。						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		交通事故死者数	人	目標値	10	10	10	10
				実績値	19	11	9	9
				達成率	53%	96%	111%	111%
	評価			悪い	普通	良い	良い	
	算出方法・設定根拠など		目標値は、第10次堺市交通安全計画の令和2年の目標					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		交通安全教室の実施	回	目標値	218	220	219	219
				実績値	234	254	254	254
達成率				107%	115%	116%	116%	
評価	良い			良い	良い	良い		
算出方法・設定根拠など		規模等の関係から市の安全教室を希望しない施設を除いた保育所、保育園、こども園、幼稚園、小学校数(増減することがある)を目標値とし、実施回数(複数回有)を実績値としている。						

#### 業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	「交通事故をなくす運動」を堺市推進協議会で展開し、委員・役員や地域交通指導員などの協力を得て交通安全の協力体制が築けている。 交通安全教室の実施については、対象となる施設数を目標値としているが、卒園が近い園児に対する安全教室を希望するなど、複数回の開催要望にも対応している。また、施設の都合で実施することが不可な施設も存在することから、園(所)独自で安全教育を実施する施設については、視聴覚教材の貸し出しなどの支援を行っている。

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。